

部長名	農林振興担当部長
-----	----------

部のミッション

地域経済の活性化を担う産業の一つでもあり、経済の好循環をより一層強化するため、農業経営として自立した「八王子の農業」を目指す。

部のビジョン

- ・八王子市の重要な産業の一つである農業についてその生産基盤である農地の保全と農作物被害の低減に努め、農業者等による地域の特性を活かした経営展開を支援する。
- ・森林の整備及び資源活用を推進するため市有林の活用に着手し、八王子における「森林の循環」に取り組む。

重要度が高い事務事業

番号	施策番号	細施策番号	事業名	重要度が高いとする理由	事業実施課
1	32	1	農業環境の整備	八王子市の今後10年間における農業振興の方向性を示す第4次農業振興計画を策定する	農林課
2	32	1	地域ぐるみ獣害対策推進事業	獣害被害が問題である地域との協働により、地域住民と関係機関、行政が一体となった獣害対策の推進は重要	獣害対策課
3	32	1	地域農業活性化推進	地元農業者の協議により策定する地域計画で地域の中心的手への農地集約や、認定農業者への支援を通して経営力の強化を図る	農林課
4	32	2	市有林管理	森林が持つ公益的機能と多面的機能を維持するため、市有林を活用した森林循環・資源活用事業に着手する	農林課
5					
6					
7					
8					
9					
10					

施策番号	32	細施策番号	1	細施策名	農業の振興	事業名	農業環境の整備	
目標設定にあたって重視した点				市民生活・地域経済の回復、発展				
1	【目的】			【目標（2030年のあるべき姿）】			【目標（年度末のあるべき姿）】	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八王子の農業を牽引する認定農業者に対して経営改善に資する農業用施設及び機材の導入経費を補助し農業環境を整えることで、経営力の強化を図る。</li> <li>・農業者の協議による地域計画の策定により、地域の農業の中心となる担い手である認定農業者等への農地集約を促進する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定農業者の営農環境が改善し、経営力の強化につながっている。</li> <li>・農業者が農業経営にスマート農業を取り入れはじめている。</li> <li>・地域計画に基づき認定農業者及び認定新規就農者の経営規模が拡大している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度に要望を受けて予算化した経営改善に資する各補助事業が年度内に完了している。</li> <li>・地域農業者による協議を経て、川口地区（上川町）の地域計画を策定している。</li> <li>・令和9年4月の公表に向け、第4次農業振興計画を策定している。</li> </ul>	
1	【現状】			【課題】			【事業内容】	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者の高齢化や後継者不足により、農家戸数及び耕地面積が減少している。</li> <li>・認定農業者数は減少傾向、認定新規就農者数は増加傾向。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲と能力のある認定農業者による補助事業の積極的活用</li> <li>・スマート農業の有用性の共有と、市内で活用可能な技術・機材に関する知見</li> <li>・認定農業者及び認定新規就農者への円滑な農地集約</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市農業振興施設整備事業（経営力強化メニュー）の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>大型パイプハウス（環境制御型）</li> </ul> </li> <li>・未来に残す東京の農地プロジェクト（防災兼用農業用井戸の設置）の実施</li> <li>・川口地区（上川町）地域計画の策定及び次年度策定に向けた由井地区（小比企町）のアンケート調査の実施</li> <li>・第4次農業振興計画の策定</li> </ul>	
施策番号	32	細施策番号	1	細施策名	農業の振興	事業名	地域ぐるみ獣害対策推進事業	
目標設定にあたって重視した点				経営計画に掲げる重点事業の推進				
2	【目的】			【目標（2030年のあるべき姿）】			【目標（年度末のあるべき姿）】	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年の野生獣の深刻化・広域化に対応するため、地域の実情に適合した獣害対策を地域住民が主体的に立案し、実施することで農作物被害の防止・軽減を図る地域ぐるみの取組を支援し、定着させることを目的とする。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>野生獣を人の暮らしに近づけさせない環境整備や防除の取組を地域の実情に合わせ地域ぐるみで継続的に実施され、地域の自然環境・地形・作物など知己の実情に適合した獣害対策を地域住民が主体的に立案・実施・定着し、その取組を支援している状態</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>【地域の実情に応じた獣害対策の取り組みの推進】</li> <li>・3地域の、地域の（仮称）獣害対策リーダーの育成を行っている</li> <li>・野生獣のエサ場や棲み処や隠れ場所を減らしている</li> <li>・サルGPS情報等を活用し、地域住民が追払いを行っている</li> <li>・地域住民が貸与した罾の見回り、エサの交換を行っている</li> <li>・地域の学生等も参加した取り組みを行っている</li> <li>・地域住民との信頼関係を構築しながら、職員の後継者育成を行っている</li> <li>・全体報告会等を通じ、他地域の取り組みを横展開できるよう情報発信を行っている</li> </ul>	
2	【現状】			【課題】			【事業内容】	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>【高月、上川、上恩方、下恩方、小津地区内】</li> <li>・R4年度より本事業に着手し、野生動物等の痕跡等を調べる地域点検を実施、動物の特性を学習、地域の特性にあった獣害対策の検討を住民主体で行った。</li> <li>R8年度は地域の（仮称）獣害対策リーダーの育成を予定。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の大半が高齢者、地域のリーダー育成や若者世代の参加者確保。</li> <li>・従来の「捕獲に頼る」手法からの脱却。</li> <li>・獣害対策デジタル技術の活用。</li> <li>・本事業は複数年に渡るため、市の担当職員の育成。</li> <li>・野生動物の生態や行動を学んだ人材の確保。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ぐるみ獣害対策推進事業。</li> <li>・地域の実情にあった獣害防止対策を、地域住民と市や関係団体が一体となって取り組む。</li> <li>・地域の（仮称）獣害対策リーダーの育成。</li> </ul>	

3	施策番号	32	細施策番号	1	細施策名	農業の振興	事業名	地域農業活性化推進
	目標設定にあたって重視した点		市民生活・地域経済の回復、発展					
	【目的】			【目標（2030年のあるべき姿）】			【目標（年度末のあるべき姿）】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>八王子の農業を牽引する認定農業者の経営改善計画を認定・支援するとともに、就農間もなく経営基盤が不安定な認定新規就農者の定着を積極的に支援することで、市内農業の活性化を図る。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>認定農業者の経営改善が図られ、市内農業が活性化している。</li> <li>認定新規農業者の営農環境が充実し、市内農業者の一員として活躍している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>更新時期を迎えた認定農業者が、市及び関係機関のサポート体制の下で新たな認定を受けている。</li> <li>新規就農者が市及び関係機関のサポート体制の下で定着に向けて認定新規就農者の認定を受けている。</li> <li>前年度に要望を受けて予算化した認定新規就農者に対する各補助事業が年度内に完了している。</li> </ul>		
【現状】			【課題】			【事業内容】		
<ul style="list-style-type: none"> <li>耕地面積は毎年9ha程度ずつ減少</li> <li>農業者の高齢化や後継者不足により、農家戸数が減少。</li> <li>認定農業者数は減少傾向、認定新規就農者数は増加傾向。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲と能力のある認定農業者による補助事業の積極的活用</li> <li>就農間もない経営基盤が不安定な認定新規就農者による補助事業の積極的活用</li> <li>農業者の営農意欲の向上につながる支援策の検討</li> <li>後継者支援及び就農希望者受け入れによる農業者の確保</li> <li>大学や民間企業等との連携による活性化策の検討</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>認定農業者の認定、認定新規就農者の認定</li> <li>認定農業者等支援事業費補助事業の実施</li> <li>新規就農者育成総合対策費補助事業の実施 就農意欲の喚起と定着（年額150万円）</li> <li>都市農業振興施設整備事業（営農定着メニュー）の実施 パイプハウス、トラクター、保冷库等</li> </ul>		
4	施策番号	32	細施策番号	2	細施策名	林業の再興	事業名	市有林管理
	目標設定にあたって重視した点		市民生活・地域経済の回復、発展					
	【目的】			【目標（2030年のあるべき姿）】			【目標（年度末のあるべき姿）】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>八王子市森林整備計画に定める標準伐期齢を過ぎた市有林に搬出伐採を実施することで森林の循環を促す。</li> <li>八王子市内の森林から、伐採→搬出→製材→加工を一連の流れで実施することで、市民へ林業及び森林の意義を広く周知・啓発する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;充実 ヤゴ沢市有林&gt;</li> <li>木材利用が促進され、持続可能な林業循環モデルが確立する。</li> <li>&lt;継続業務 日影沢市有林&gt;</li> <li>搬出伐採後に植栽され、森林の循環が実現している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;充実 ヤゴ沢市有林&gt;</li> <li>主伐を行うとともに、木材の搬出を可能にするためヤゴ沢作業道を整備する。</li> <li>搬出した木材を市内関係機関で活用する。</li> <li>&lt;継続業務 日影沢市有林&gt;</li> <li>下刈り、植栽、主伐</li> </ul>		
【現状】			【課題】			【事業内容】		
<ul style="list-style-type: none"> <li>防災の観点から、沢沿いの小面積を主伐し搬出している。</li> <li>間伐等で伐採した場合は、コスト面から森林内に残地し、搬出はしていない。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>切り出した木材の活用にあたり、節が多いと1本の立木からどの程度利用できるか不透明となっている。</li> <li>伐採搬出した木材は原木市場で売却するが、利益は出ていない。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;充実 ヤゴ沢市有林&gt;</li> <li>既存作業道を木材の搬出が可能な作業道へ整備</li> <li>伐採期を迎えた木材を主伐し、搬出</li> <li>搬出した木材を活用</li> <li>&lt;継続業務 日影沢市有林&gt;</li> <li>植栽後の下刈り、伐採後の植栽、伐期を迎えた樹木の伐採搬出及び原木市場等での売却</li> </ul>		